

「自らの健康に目を向け、よりよい生活習慣の確立をめざす児童の育成」

～歯・口の健康づくりを通して～

佐賀県上峰町立上峰小学校 児童数 609 名

1 研究のねらい

児童に、自身の歯・口の健康に関心をもたせ、自らの課題を解決するために自律的な取り組みをさせる。歯・口の健康づくりに取り組む中で身に付けた力をもとに、自身のよりよい生活習慣の確立をめざす児童を育成する。

2 主な取り組み

<授業研究部>

(養護教諭・歯科衛生士との TT 授業)

養護教諭や歯科衛生士と TT を組み、専門的な立場から指導を受けたことにより、児童は歯・口の健康づくりへの関心が高まった。



(歯っぴい集会)

児童自身が歯と口に関する活動を行うことで、歯に関する興味や歯を大切にしようとする意識を高めさせることができた。



<環境・資料部>

(掲示板的設置)

各学年の掲示板に「健康コーナー」を設け、学年に応じた内容の、歯に関するクイズや、がんばりカードの集計結果などを掲示した。



(歯みがきがんばりカード)

毎月 8 日を「歯の日」として、その日を含む 1 週間「歯みがきがんばりカード」を実施した。その結果を「歯っぴい通信」で保護者に知らせたり、学校ホームページに掲載したりすることで、保護者や地域へ啓発を行った。

(給食後の歯みがき)

給食後、学校で作った「歯みがきの歌」に合わせて、手鏡を見ながら丁寧にみがくように指導している。



(養護教諭による個別のブラッシング指導)

昼休みに養護教諭によるブラッシング指導を行っている。今年度は CO、GO のある児童 123 人を対象に実施した。



<地域・家庭連携部>

(授業参観日に実施しているブラッシング指導)

毎年、1・5 年生に実施している。保護者も一緒に指導を受けるので、専門的な知識が得られると、保護者からも好評を得ている。



(幼稚園・保育園との交流)

6 年生が、地域の幼稚園・保育園に行って、自分たちが今までに学習した歯・口の健康づくりについての知識を、園児に伝えることをめあてとして活動できた。



上峰小学校「歯・口の健康づくりキャラクター」
はっぴいちゃんとハブラシくん